Map & Index

近畿グループの20病院一覧

近畿グループ　臨床研修施設一覧

頁	都道府県	基幹施設名	初期臨床研修	専門研修（基本領域）																			
				内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	産婦人科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科
89	福井県	敦賀医療センター	協力型	▲				▲		▲												
90		あわら病院	協力施設	▲																		●
91	滋賀県	東近江総合医療センター	基幹型	●	▲	▲		▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲		▲	▲		▲
92		紫香楽病院	－		▲																	
93	京都府	京都医療センター	基幹型	●	▲	▲	▲	●	●	●	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲		●	▲		
94		宇多野病院	協力型	▲																		
95		舞鶴医療センター	基幹型		▲		●							▲								
96		南京都病院	－	▲	▲			▲							▲							
97	大阪府	大阪医療センター	基幹型	●	▲	●	▲	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲	▲	●
98		近畿中央呼吸器センター	協力型	▲													▲					
99		大阪刀根山医療センター	協力型	▲				▲														
100		大阪南医療センター	基幹型	●	▲	▲		▲	▲	▲			▲	▲		▲	▲					
101	兵庫県	神戸医療センター	基幹型	●	▲	▲		▲	▲	▲	▲				▲	▲	▲					
102		姫路医療センター	基幹型	●				▲		▲			▲									
103		兵庫あおの病院	－	▲																		
104		兵庫中央病院	協力型	▲				▲		▲												
105	奈良県	奈良医療センター	協力型	▲										▲								
106		やまと精神医療センター	協力型				●															
107	和歌山県	南和歌山医療センター	基幹型	▲		▲		▲		▲				▲	▲	▲	▲		▲			
108		和歌山病院	協力型	▲	▲			▲														

専門研修・・・●：基幹施設　※連携施設も含む　▲：連携施設

初期臨床研修	協力型	専門研修	連携

敦賀医療センター

病院長名	飯田　敦
住　所	〒914-0195　福井県敦賀市桜ヶ丘町33-1
電話番号	0770-25-1600
アクセス	JR 北陸線　敦賀駅より　バス「国立病院」下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
4	0	0	0	0	6	0	0	0	0	3	0	2	1	0	0	1	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	1	0	0	0	0	0	0						19

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
100	120						220

□ 1日平均患者数　外来 195件　入院 163件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 1,490件　救急車 478件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 566件　全身麻酔 205件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

病院PR

当院は、がん診療、糖尿病診療、重症心身障害児（者）医療の政策医療を中心に、高齢者に多い運動器疾患、感染症治療等、地域に根差した診療を行っている病院です。がん診療については消化器がんを中心に、がんの手術、化学療法、緩和治療に取り組み、内視鏡治療、腹腔鏡手術などの低侵襲治療を行っています。地域の医師会との症例検討会や地域の多職種連携の勉強会、専門的なセミナーも開催されており、機構本部や近畿グループ主催の研修会にも参加できます。整形外科・リウマチ疾患に対する専門的治療・手術、各種内科疾患、小児疾患、重症心身障害児（者）医療にも取り組んでおり、将来の専門医取得にも、地域医療能力獲得にも活かせる病院です。

研修体制

□ 指導医数　7名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　4回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 －　専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	－	457,380 円/月
2 年 次	－	457,380 円/月
3 年 次	－	457,380 円/月

研修担当

□ 院長　飯田 敦

当院は港町敦賀の名山・野坂山を望む高台に位置し、内科・外科・小児科・整形外科を中心とした急性期医療と共に、重症心身障害児（者）病棟を備えた複合型の病院です。今後全国でさらに増加する高齢患者に対する適切な治療選択も含めて、各診療科で専門的診療の経験を積むことができます。また近隣施設を含めた地域医療、在宅医療の経験を行います。交通の便利な敦賀で豊かな食を楽しみながら診療の腕を磨くことは貴重な経験になると思います。若手医師の研修を大歓迎します。

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・福井大学医学部附属病院

□ 研修の領域
内科、外科、整形外科

□ 研修の特徴
・患者に応じた低侵襲外科治療、専門医および指導医の充実
・医療の質の向上：チーム医療の推進、集学的治療、最新のがん薬物療法
・標準治療の実施：臨床研究および共同研修の推進、治験の推進

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△		△												

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
オン・ザ・ジョブ・トレーニングを通じて、専門医となるための知識や、診療技術を身に付けるよう、指導を行います。
・患者さんのための医療を実践する。
・チーム医療の考え方をマスターする。
・地域医療に携わり重要性を理解する。

トピックス

以下は外科プログラムの週間スケジュール（例）です。

	月	火	水	木	金	土・日
8:30〜9:00	モーニングカンファレンス（緊急、入院、経過報告）	術前カンファレンス	モーニングカンファレンス（緊急、入院、経過報告）	術前カンファレンス M&M カンファレンス	モーニングカンファレンス（緊急、入院、経過報告）	
9:00〜12:00	外来 内視鏡検査 放射線検査	外来 内視鏡検査 放射線検査	手術	外来 内視鏡検査 放射線検査	外来 内視鏡検査 放射線検査	
13:00〜17:00	手術	内視鏡検査・治療 放射線検査	手術	内視鏡検査・治療 放射線検査 予定により：手術	内視鏡検査・治療 放射線検査 第2・4金曜日：手術	（適宜、関連学会関連研究会に出席）
17:00〜18:00		医局勉強会		（年数回）CPC 外科勉強会	（第4金曜日 19:30〜）二州地区医師会 消化器勉強会	

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課　庶務班長
担当医師　院長　飯田 敦
TEL　0770-25-1600
FAX　0770-25-7409
E-mail　400-TSURUGA@mail.hosp.go.jp

あわら病院

病院長名	見附　保彦
住　所	〒910-4272　福井県あわら市北潟238-1
電話番号	0776-79-1211
アクセス	JR 芦原温泉駅より車で約8km、あわら湯のまち駅より車で約5km

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	0	0	0	0	0						7

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
82	90						172

□ 1日平均患者数　外来 30件　入院 155件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 293件　救急車 0件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　6名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年次	−	457,380 円/月
2 年次	−	457,380 円/月
3 年次	−	457,380 円/月

研修概要

初期研修

協力施設

□ 基幹病院名
・福井大学医学部附属病院

□ 研修の領域
長寿・障害者医療、地域医療（訪問診療）

□ 研修の特徴
・common disease 症例だけでなく政策医療としてのセーフティネット症例など多くの症例経験が可能。
・在宅だけでなく特別養護老人ホームへの訪問診療も行い地域医療を経験できる。
・医師及び検査技師からの指導により、超音波検査のスキルを身に付けられる。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		○

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
	○		○				○							

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
超高齢社会が先行する過疎地域は日本の在宅フロンティアです。当院では平成28年より「Hospital in the Home,Home in the Hospital(在宅に入院のような安心を、入院に在宅のようなやすらぎを)」を標語として掲げ、ADL が低下した難病･心不全･がん等患者が住み慣れた地域で最後まで安心して生活できることを提供価値とする集学的ホームケアサービスを実施しています。医師として医学的アプローチ、社会的アプローチを如何に上手に組み合わせて活用するかが基本的な研修課題です。

院長　　見附　保彦

病院PR

当院は内科全般、小児科を対象とした診療体制をとり、特に障害者、長寿、血液・免疫においては専門性を発揮した医療を展開しています。
障害者医療・長寿医療に関しては、重症心身障害児（者）病床90床の他、障害者病床68床、地域ケア包括病床14床を有し、高齢者を総合的に診療して、慢性疾患に合併する肺炎や心不全、血管障害といった急性の病態を治療する体制を整えています。
それぞれの医師が各領域の専門医や指導医に認定されており、下記のような研修施設認定を受けています。
そのうえで、訪問診療などの在宅支援事業の運営、地域ネットワークを活用した地域完結型医療に力を入れています。

■専門医資格関連情報（2025年4月1日現在）
日本内科学会認定教育関連施設
日本血液学会専門研修教育施設
日本循環器学会認定研修関連施設
日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設
日本病院総合診療医学会研修認定施設

研修担当

□ 内科医長　桐場 千代

当院付近一帯は、越前加賀海岸国定公園に指定されており、閑静な環境にあります。美味しい食べ物もたくさんあります。
自然と親しみながら、研修に励んでいただきたいと考えています。

○研修において特に力を入れている領域について
1．医療過疎地診療所としての在宅医療
在宅患者の様々な合併症へのアプローチ、ハンディエコー機器等を用いた在宅検査
2．ポリファーマシーの改善
医師、薬剤師および院内外の多職種による医療の質・安全性の向上
3．高齢者終末期の意思決定支援
「食べられなくなった」ときの方針や、その他の治療選択する際の意思決定支援
4．がん終末期の意思決定支援
療養の場を決められないなど、がん終末期症例におけるご家族に対しての意思－決定支援
5．居住系施設での在宅医療
特別養護老人ホームにおける終末期患者へのアプローチ、入院適応について

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　庶務班長　星 大輔
担当医師　内科医長　桐場 千代
TEL　0776-79-1211
FAX　0776-79-1249
E-mail　401-Syomu@mail.hosp.go.jp

東近江総合医療センター

病院長名	野﨑　和彦
住　所	〒527-8505　滋賀県東近江市五智町255
電話番号	0748-22-3030
アクセス	近江鉄道「八日市駅」近江鉄道バス「東近江総合医療センター」「五智前」下車。

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
5	2	6	4	2	5	4	0	0	1	2	5	3	1	2	2	1	2
泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計				
2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	52				

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
304			16				320

□ 1日平均患者数　外来 453件　入院 177件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 5,081件　救急車 1,613件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 1,541件　全身麻酔 798件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　32名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　1回（剖検数 1件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 4回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	411,000 円/月	640,000 円/月
2 年 次	421,000 円/月	660,000 円/月
3 年 次	−	680,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・内科系全ての専門医と全研修医が毎朝集まるカンファレンス
・common disease 診療のレベルアップ
・近畿随一を誇るスキルスラボ

□ 研修終了後の進路　当院での採用、滋賀医科大学への推薦、国立病院機構病院への推薦
□ 研修医の出身大学　滋賀医科大学、近畿大学、東海大学
□ 募集人数　4名
□ 試験日程　例年8月頃
□ 選考方法　面接方式

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△		△	△	△	△	△	△		△	△	△		△	△		△

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
△	△	△		△	△			△	△					

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
								△

CHECK!

□ その他特記事項
宿舎有。（Wifi、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、照明、カーテン既設。
駐車場有。１ヶ月約税込1万円（※光熱費別途。）
院内研修医室を各研修医に１部屋ずつ割り当られます。

病院PR

2013年４月に竣工した病棟には、１階に放射線部門を移設しリニアック、64列 CT、1.5テスラ MRI、IVR-CT、X線テレビ装置、マンモグラフィーを更新し、２階は５室の手術室と中央材料室、また200人以上が収容できる会議室を設け、滋賀医科大学とテレビ会議式の CPC も開催しています。３階～７階は病室で、廊下・各室とも明るく広々とした環境となっています。医局には、シャワー、ベッド、机、24時間冷暖房を備えた新しい個室を17室設置し、全ての研修医に割り当てます。また、スキルスラボを有し、超音波診断・内視鏡操作・IVR 手技・心音呼吸音聴診など多くのシミュレーターを備え、研修することが可能です。

初期研修医の声

□ 研修医　市田 匠

当院では、全内科医師が参加する朝カンファレンスを実施しており、多様な症例について議論することで、幅広い知識を身につけることができます。また、スキルスラボを活用し、各種手技の練習を行う環境も整っています。研修医として成長しやすい環境を提供するだけでなく、給与や休日も充実しており、安心して働くことができます。学びと働きやすさを両立できる当院で、一緒に研修を積みませんか？

研修担当より

□ 内科診療部長　杉本 俊郎

当院の特徴の一つ目は、内科系全ての専門医と全研修医が毎朝集まるカンファレンスです。各診療科のカンファと異なり、全ての医師が知っておくべき重要な疾患や薬物副作用の情報を共有を行い、また common disease 診療のレベルアップにも役立っています。２年間のカンファレンスを通して総合診療医を目指す医師はもちろんのこと、専門医を目指す医師もすそ野を広げる研修ができることを目標としています。

トピックス

当院は東近江市立２病院との集約化・再編により、2013年４月に地域中核病院としての役割を担うこととなり、救急医療、小児・産科医療を含めた急性期医療、結核・新興感染症などを含めた政策医療など幅広く地域医療を推進しています。また、滋賀医科大学教育研究拠点として寄付講座（総合内科学講座、総合外科学講座）が設置されており、地域医療への対応能力と専門性を有した優れた医療人を育成する使命があり、医療技術習得のための各種シミュレーターを備えたスキルスラボを活用しながら、学生・研修医教育を行っています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課　庶務係長
担当医師　内科診療部長　杉本 俊郎
TEL　0748-22-3030
FAX　0748-23-3383
E-mail　402-higashiomikensyu@mail.hosp.go.jp

初期臨床研修	ー	専門研修	連携

紫香楽病院

病院長名	真田　充
住　所	〒529-1803　滋賀県甲賀市信楽町牧997
電話番号	0748-83-0101
アクセス	信楽高原鉄道 紫香楽宮跡駅下車、徒歩3分

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	0	0	0	0	0						8

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
82	98						180

□ 1日平均患者数　外来 36件　入院 146件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 139件　救急車 2件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 1件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 無　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　2名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 3回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	516,600 円/月	ー
2 年 次	532,700 円/月	ー
3 年 次	ー	ー

研修概要

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
	△																	

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

当院は、重症心身障害児（者）医療、神経難病医療、及びそれらを支える一般医療（地域医療を含めて）を診療の主体としております。重症心身障害児（者）医療におきましては、国立病院機構における政策医療ネットワークの一員として活躍し、県内外から患者様を受け入れ、特色ある医療・療育を展開しております。神経難病医療におきましては、入院を必要とする多くの患者様を受け入れ、診療・研究に日々努力しております。また他の国立病院機構の医療機関とともに全国的なネットワークに参画するとともに、県下におきましても、難病医療ネットワーク協議会等において重要な役割を果たして降ります。

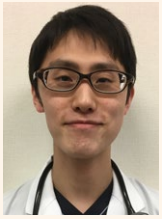
■ 専門医資格関連情報（2025年1月1日現在）

内科認定医、神経内科専門医、整形外科専門医、リウマチ専門医、内科指導医、神経内科指導医、小児科専門医、小児科指導医、小児神経専門医、てんかん専門医

近畿

研修担当

□ 診療部長　森宗 孝夫



当院では、一般外来業務と、入院業務として重度心身障害児（者）、ALS やパーキンソン病などの神経難病を中心とした医学的管理やリハビリテーション、療育活動を行なっています。養護学校が併設されていることから小児期の重症心身障害児も入院されており、教育との連携も当院の特色の一つです。疾患の治癒、生命の維持を目指す急性期医療とは異なり、患者さんの身体的負担を軽減させる、生活の質を高める、豊かな生活を送るために必要なものは何かを慢性期医療から学ことができます。このように当院で福祉の視点を勉強できることは特に医師にとってこれからの医療に活かすことのできる貴重な経験を積むことができると考えます。特に慢性期医療の担い手は不足しているのが現状です。ぜひ当院に興味を持っていただけましたら幸いです。

トピックス

当院は琵琶湖畔の大津市から南東28㎞、標高275mの丘陵信楽盆地にあり、自然環境は極めて良く、慢性疾患患者の療養には最適の位置にあります。当地は、伝統産業賭して信楽焼が有名で日本六古窯の一つでわが国最古の産地で、古くは茶壺、茶器、火鉢 等を主としていましたが、現在は植木鉢、食器用陶器、装飾冬季を生産し、特にタヌキの焼き物は有名です。また、製茶も京都宇治茶に匹敵する上質の朝宮茶が生産されています。元々アクセスが悪い立地ではありましたが、2023年3月に滋賀県道16号（大津信楽線）が全面改装されたことにより大津市からのアクセスが飛躍的に改善し、利便性に優れた病院となっています。医療だけではなく、当院周囲の素晴らしい環境にも触れていただきたいと思います。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課庶務班　庶務班長
担当医師　診療部長　森宗 孝夫
TEL　0748-83-0101
FAX　0748-83-1262
E-mail　403-shigaraki@mail.hosp.go.jp

京都医療センター

病院長名	川端　浩
住　所	〒612-8555　京都府京都市伏見区深草向畑町1-1
電話番号	075-641-9161
アクセス	京阪電鉄「藤森」駅下車徒歩10分，JR 奈良線「JR 藤森」駅下車徒歩15分

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
35	6	13	12	4	5	4	10	4	6	6	8	8	4	7	3	9	12

泌	精神	救急	病理										計
6	2	10	2										176

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
600							600

□ 1日平均患者数　外来 1,035件　入院 370件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 8,490件　救急車 4,509件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 5,926件　全身麻酔 3,535件　ダビンチ 有
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 有

研修体制

□ 指導医数　78名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　7回（剖検数 7件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 5回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	320,000 円/月	420,000 円/月
2 年 次	320,000 円/月	420,000 円/月
3 年 次	−	420,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・診療科がそろっていて症例が豊富、各診療科の垣根が低く気軽にコンサルテーションできます
・救命救急センターの ER 担当で１～３次救急を幅広く経験できます
・必修診療科17か月、選択科7カ月のスーパーローテーションで研修を行います

□ 研修終了後の進路　当院専攻医：他院専攻医
□ 研修医の出身大学　京都大学・大阪医科薬科大学・徳島大学・岐阜大学・金沢大学・金沢医科大学・鳥取大学・熊本大学・広島大学・京都府立医科大学・鹿児島大学・奈良県立医大
□ 募集人数　9名
□ 試験日程　2025年8月予定
□ 選考方法　マッチング（書類・筆記・小論文・面接）

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△	△	○	△		○	△		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
○	○	○			○	○	○	○		○		○	○	○

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
	○			○	○	○	○	○

CHECK!

□ その他特記事項

病院PR

当院は40診療科標榜の高度総合医療施設です。また、国から内分泌・代謝疾患の高度専門医療施設（準ナショナルセンター）、成育医療の基幹医療施設、がん・循環器・感覚器・腎疾患の専門医療施設に指定されており、エイズ診療、国際医療協力の機能も付与されています。また京都府に4施設しかない三次救急医療施設の指定を受けており、地域がん診療連携拠点病院でもあります。
高度先進医療を実施していくとともに、その基礎となる臨床研究の実施、質の高い医療を提供できる医療従事者の育成、与えられた政策医療分野に関する情報の発信など当院に与えられた使命を引き続き果たしていきます。
また今後、地域の診療所・病院との連携を強化し、地域医療の発展に貢献していくため地域医療連携室の充実を図っております。

臨床研修ローテーション例

※外来研修は内科ローテで行う　※麻酔科救命科は4か月セットでローテする

例1	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科		麻酔科		救命救急科		外科		内科			
2 年次	小児科・産科婦人科			地域医療	精神科	選択科						

ローテーション例２：個々によりローテ順は変わる

例2	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科		外科		麻酔科		救命救急科		内科			
2 年次	選択科				地域医療	精神科	選択科			小児科・産科婦人科		

初期研修医の声

□ 研修医　岡田 裕太

京都医療センターはローテ科が充実しており、かつ自由選択枠も多いため色んな人のニーズに合わせたローテが出来るのが研修医にとって良いところだと思います。また、当直回数は他の病院に比べるとやや多いと思いますが、基本的には walk in、救急車をファーストタッチでき、しっかりとフィードバックできる環境なのでとても勉強になります。他、詳しい話も聞けると思うので是非見学に来てみて下さい！

専攻医の声

□ 専攻医　藤本 直輝

当私は呼吸器内科で専攻医一年目として勤務しております。
当科ではプライマリーな疾患から専門性の高い疾患まで幅広い診療を経験できる環境が整っており、臨床の最前線でスキルを磨くことができます。
また、学会発表や論文執筆などの学術活動にも積極的に取り組んでおり、診療だけではなく研究活動の面でも成長できる機会が豊富です。指導医の先生方は教育熱心で、日常診療において困ったことがあればすぐに相談できる環境にあります。
専攻医二年目には外部の病院で一年間勤務する機会があり、異なる環境でさらに経験を積むことができます。
多様な症例を経験しながら、日々充実した毎日を送っております。

研修担当より

□ 教育研修部長　小山 弘

総合病院として各科専門医を要しつつ、600床と各医師、コメディカルとのコミュニケーションが円滑に行える適正な規模の病院です。また、地域の基幹病院として common disease から比較的まれなものまで多様な疾患を豊富に経験できます。これらの特徴をいかしながら、一人でも多くの患者を受け持ち、医療とプライマリ・ケア全般の基礎を身につけ、その上に各自の専門性を身につける、という積極的な研修を希望している諸君を待っています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　教育研修部　研修事務担当
担当医師　教育研修部長　小山 弘
TEL　075-641-9161
FAX　075-643-4325
E-mail　404-kensyu-jimu@mail.hosp.go.jp

近畿

宇多野病院

病院長名	澤田　秀幸
住　所	〒616-8255　京都府京都市右京区鳴滝音戸山町8
電話番号	075-461-5121
アクセス	山陰（嵯峨野）線円町駅 市バス「宇多野病院前」で下車　徒歩1分

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	1	0	0	0	0	0	3						27

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
320		60					380

□ 1日平均患者数　外来 148件　入院 253件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 415件　救急車 415件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 208件　全身麻酔 157件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　7名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　4回（剖検数 4件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	−	448,100 円/月
2 年 次	−	476,100 円/月
3 年 次	−	504,100 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・国立病院機構京都医療センター

□ 研修の領域
神経難病診療

□ 研修の特徴
・多様な神経内科疾患・神経難病患者の主治医として、診察と討議に参加する。
・担当患者の症例提示、経過報告、問題点の提起を行い、討論を行う。
・救急外来にて Neurological Emergency の診療を指導医とともに担当する。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

CHECK!

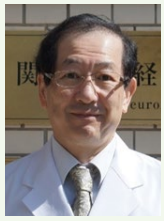
病院PR

当院は、脳神経系、免疫系、整形外科系などの専門医療に特徴があり、なかでも脳神経領域では、関西脳神経筋センターとして、西日本の脳・神経・筋疾患のセンターとしての役割を果たすべく診療・研究・教育を行っています。また、リウマチなど膠原病・免疫疾患にも高い診療実績があります。
先端的治療に取り組んでいることも大きな特徴で、パーキンソン病に対するSTN-DBS（視床下核深部脳刺激）手術も、我が国では、最も早い時期に開始した病院の1つで、現在も神経内科医と脳外科医が協力して手術をしています。
学会の診療ガイドラインの委員を当院スタッフが引き受けているなど、診療内容は、国際的にみても高いレベルにあると自負しています。学会活動も活発で、若い先生方にこうしたアカデミックな環境の中でトレーニングを受けていただくことが将来のためになると確信しています。
現在、専攻医は4名で、これまでの出身大学は、京都大、京都府立医大、大阪医大、大阪市大、奈良県立医大、岡山大、島根大、山口大、愛媛大と様々で自由な気風があります。

■専門医資格関連情報（2025年1月1日現在）
日本神経学会、日本内科学会、日本脳神経外科学会、日本リウマチ学会、日本整形外科学会、日本てんかん学会、日本臨床神経生理学会、日本小児科学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会、日本頭痛学会、日本認知症学会、日本リハビリテーション医学会　他

研修担当

□ 院長　澤田 秀幸



神経内科は専門性が高いため、専門分野に重点を置いた研修環境が必須です。ハンマーなどを用いて、診断を突き詰めてゆくところに神経学の醍醐味があります。神経内科を目指すならば、指導者について神経学的所見をとるトレーニングを積む必要があります。
当院では特にベッドサイドでの所見を重視し、新患回診では1例ごとに神経学的所見と病歴から診断を推定し、画像等の補助検査でこれを確認するという手順を徹底しています。
変性、免疫疾患を中心に、幅広い神経疾患の診療を行い、神経内科だけで年間1,000件以上の入院数があります。

トピックス

■先輩医師より　脳神経内科　野元　翔平

脳神経内科専門医10名以上、専攻医 5〜7名が在籍しており、脳神経内科だけで200床以上の病床があり、神経変性疾患や免疫疾患を中心に神経筋疾患を幅広く、かつ、初期から後期まで担当することができます。病歴聴取から神経診察、診断・治療に至るまで、カンファレンスや回診を通じて、丁寧に指導を受けられます。また、日常診療だけでなく、希望者には臨床研究活動まで手厚くサポートが受けられ、学会発表や論文作成、論文提出による学位取得の機会まで与えられています。脳神経内科医を志す若手医師にとって非常に恵まれた環境です。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課　給与係長
担当医師　院長　澤田 秀幸
TEL　075-461-5121
FAX　075-464-0027
E-mail　oda.sayo.bj@mail.hosp.go.jp

舞鶴医療センター

病院長名	法里　高
住　所	〒625-8502　京都府舞鶴市字行永2410
電話番号	0773-62-2680
アクセス	JR 舞鶴線東舞鶴駅下車　京都交通バス 東西循環線（右回り）西舞鶴行「舞鶴医療センター前」下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	0	2	2	4	2	0	0	0	5	7	1	0	1	2	1	0	3

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
279				120			399

□ 1日平均患者数　外来 315件　入院 200件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 4,700件　救急車 1,656件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 657件　全身麻酔 568件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　9名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　1回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 4回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	541,632 円/月	591,384 円/月
2 年 次	541,632 円/月	612,728 円/月
3 年 次	−	633,376 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴　・プライマリケアを中心に多くの症例を経験できる
・自由度の高いプログラム
□ 研修終了後の進路　大学医局、大学院、一般病院、美容形成外科、等
□ 研修医の出身大学　京都府立医科大学、兵庫県立医科大学、徳島大学、宮崎大学、等
□ 募集人数　2名
□ 試験日程　例年8月下旬～9月上旬頃
□ 選考方法　面接

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
	△		○							△								

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
	△				○			○						

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

CHECK!

□ その他特記事項
■宿舎（ワンルーム・ユニットバス・月4,800円・Wi-Fi 無料・光熱費別）

病院PR

当院は一般の急性期医療を行う総合病院としての機能の他に、精神疾患・周産期・小児疾患に大きな強みを持っています。脳神経系では、脳神経内科と脳神経外科で stroke care unit（SCU）6床を運営し、年間450例を超える急性期脳血管障害患者が受診されます。精神科は京都府北部の基幹病院として120床の入院病床を持つ府内有数の精神科病棟であり、また精神科救急医療も担っており極めて多岐にわたる精神科疾患の診療をしています。周産期医療では小児科は6床の NICU を有し、京都府の周産期サブセンターとして機能し京都府北部のみならず福井県嶺南地方までもカバーする周産期の拠点となっています。これらの診療科ではそれぞれ tPA 治療・血栓回収治療、電気けいれん療法、新生児仮死に対する脳低温療法などの最先端治療法が行われています。

初期研修医の声

□ 研修医

一般の急性期医療を行う総合病院なので、ほとんどの診療科が揃っています。研修医が各年2名で少人数なので、経験できる症例も多く、指導医の先生方にも聞きやすい環境です。研修プログラムでは、2年目のプログラムの大部分を自分の意志で自由に研修科を設定できることが大きな魅力です。多くの科を回って、様々な症例を経験することも、自分の興味のある科や関連する科に集中することも可能です。卒業後の進路も、医局などに縛られず自由に選択できることも魅力です。

研修担当より

□ 臨床研究部長　松岡 照之

初期研修は、医師としても社会人としても第一歩です。疾患の診断・治療に関する知識・技術の習得は言うまでもなく、一人の人間として患者さんと向き合うことのできる人間性の確立を目指しています。当院はいくつかの専門性の高い分野を包含しつつ、総合病院でもあるという特色とともに、地域に密着し、患者さんと顔の見える関係性を築いてきた歴史があり、細切れのローテーションではないことも相まって、各診療科での common disease から希少・難治性疾患まで幅広く経験し、なおかつ患者さんから学ぶ多くのこともきっと経験できると思います。またプログラムは比較的自由度が高く、個々人の希望や研修の進捗状況に応じて研修を進めています。

トピックス

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課　庶務係長
担当医師　臨床研究部長　松岡 照之
TEL　0773-62-2680
FAX　0773-63-5332
E-mail　406-maizuru-mc@mail.hosp.go.jp

近畿

初期臨床研修	ー	専門研修	連携

南京都病院

病院長名	徳永　修
住　所	〒610-0113　京都府城陽市中芦原11
電話番号	0774-52-0065
アクセス	近鉄新田辺駅・JR 京田辺駅より京都京阪バス「南京都病院」下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	9	1	2	6	2	3	0	0	0	10	0	1	0	0	1	6	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	1	0	0	0	0						44

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
180	120		35				335

□ 1日平均患者数　外来 139件　入院 255件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 322件　救急車 55件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 56件　全身麻酔 39件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　3名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	ー	500,000 円/月
2 年 次	ー	500,000 円/月
3 年 次	ー	500,000 円/月

研修概要

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△	△			△							△							

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
					○				△				○	

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

トピックス

2022年に院内に「呼吸ケアセンター」を設立し、医師（呼吸器内科、脳神経内科、小児科）、看護師、リハビリスタッフ（PT, OT, ST）、臨床工学技士、さらに栄養士がチームとなって、様々な病態に対する呼吸管理に取り組んでいます。COPD や間質性肺疾患、気管支拡張症などの呼吸器疾患にとどまらず、ALS や筋ジストロフィーなどの神経筋疾患、そして重症心身障害に伴う慢性的な呼吸障害も対象としています。個々の症例を細やかに評価し、効果的で、かつ、持続して適用することが可能な呼吸管理方法の導入を目指しています。呼吸管理のノウハウを学びたい医師や看護師を受け入れも行っております。興味のある方はお気軽にご連絡ください。

病院PR

障害者病床240床、一般病床40床、結核病床20床で運用しており、重心130例、結核・呼吸器外科を含む呼吸器疾患90例、神経内科40例の患者さんが入院されています。小規模の病院ですが、臨床研究部があり、慢性呼吸不全の呼吸管理を中心に積極的な臨床研究を行っています。

■専門医資格関連情報（2025年1月1日現在）

日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本神経学会教育施設、日本認知症学会教育施設、呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設、日本呼吸器学会認定施設、日本老年医学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設 (関連施設)、胸部外科教育施設協議会修練施設 (呼吸器外科)、日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関、日本医学放射線学会画像診断管理認証施設、日本神経病理学会認定施設、日本臨床神経生理学会認定施設

研修担当

□ 副院長　山本 兼司

当院では、小児科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科の一般的な疾患だけでなく、重度心身障害児（者）を対象とした医療的管理・生活支援、パーキンソン関連疾患や ALS 等の神経難病を対象とした医療的管理・リハビリテーション、在宅酸素療法や NPPV を要する慢性呼吸不全への対応、結核診療といった多様な慢性期医療を研修できます。正確な診断に基づいた治療、病状コントロール、QOL 向上、合併症予防や多職種との連携によるケアを通じて、患者さんを守る医療を実践できるようになることを目標としています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　副院長　山本 兼司
TEL　0774-52-0065
FAX　0774-55-2765
E-mail　yamamoto.kenji.gt@mail.hosp.go.jp

大阪医療センター

病院長名	松村　泰志
住　所	〒540-0006　大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14
電話番号	06-6942-1331
アクセス	Osaka メトロ 谷町線「谷町四丁目駅」で下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	糖内	腎内	感内	血内	血友	外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻
0	6	12	22	8	9	8	7	5	1	23	4	12	2	9	12	9	5

皮膚	形成	放	麻酔	泌	リハ	口腔	精神	救急	総診	検査	緩和		計
5	4	12	20	5	2	7	3	12	6	5	2		237

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
605							605

□ 1日平均患者数　外来 980件　入院 454件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 9,586件　救急車 5,577件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 6,307件　全身麻酔 3,046件　ダビンチ 有
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 有

研修体制

□ 指導医数　99名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　8回（剖検数 8件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 4回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	338,615 円/月	401,070 円/月
2 年 次	338,615 円/月	401,070 円/月
3 年 次	−	401,070 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・特化された専門科からなる総合病院で、専門的教育も受けられる。
・二次救急を担当し、プライマリケア能力を高められる。
・優秀な同期と研修を受けられる。

□ 研修終了後の進路　当院、大学病院　他
□ 研修医の出身大学　大阪大学、神戸大学、奈良県立医科大学、福井大学、熊本大学　他
□ 募集人数　11名
□ 試験日程　2025年8月2日（土）
□ 選考方法　面接・筆記試験（予定）

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	○	△	○	△	△	△	△	△	△	△	△			△	△	△	○

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
○	○	○	○	○	○	○		○	△	△		○	○	○

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
	○		△		○	○		○

CHECK!

□ その他特記事項
令和8年4月より広域連携医師多数県の基幹型病院（連携元病院）に採用された研修医が、医師多数県における研修を中心としつつ、医師少数県等の臨床研修病院（連携先病院）においても一定期間研修するプログラム（広域連携型プログラム）が開始されます。
大阪医療センターでは国立病院機構の施設である「信州上田医療センター」と連携をします。2年目の4月～10月、春から秋にかけて信州で研修をします。8月に予定される大阪医療センターの採用試験を受験することで、大阪医療センターでの単独研修、信州上田医療センターとの連携プログラムのいずれかまたは両方にマッチング登録ができます。

病院PR

当センターは国が提供する「政策医療」を担う医療機関です。特に三大疾患である、がん・心臓病・脳卒中をはじめ、エイズやC型肝炎などの感染症や高度救命救急医療・災害診療も含む幅広い領域の疾患を取り扱っています。将来、専門医となるための基礎をしっかりと身につけたい初期・後期臨床研修医の皆さんには、格好の研修の場を提供できると考えています。モットーは、「正しく、品よく、心をこめて」。言い換えれば、「論理（ロゴス）、倫理（エトス）、情熱（パトス）三位一体の医療」です。皆さんには、知識・技術を磨くことはもちろん、ヒューマニズムを重んじ、熱意が患者さんに伝わるような医師を目指してほしいと願っています。

初期研修医の声

□ 研修医　羽白 亮

研修医中の大きな業務として当直があります。救急車から患者さんが運ばれ診察するのは緊張の連続でしたが、上級医の先生方が相談にすぐのって下さり、安心して診察を行うことができました。また昨年度から、当直で経験した症例について救命科の先生と振り返る場が新しくでき、臨床で出会う困った症例について意見交換できるようになりました。いいバックアップ体制のもと研修ができていると実感しています。

専攻医の声

□ 専攻医　辻西 和幸

当院での後期研修では Common disease から Rare disease まで様々な症例を経験できます。また上級医の先生方のフォローが手厚く、気軽に何でも相談に乗っていただき、病棟管理からアカデミックな内容まで日々学ばせて頂いております。他科との垣根も非常に低く、疑問や不明点などをすぐに相談できる環境・雰囲気がありとても助かっています。多くの疾患を経験できる当院で是非一緒に研修しませんか。

研修担当より

□ 職員研修部長　東 将浩

当院の初期臨床研修は、麻酔科研修を必須とし、全員に気管挿管技術が身につくよう計画しているのが特色です。一・二次救急の当直、三次救急研修により、全員がプライマリケア能力を習得する環境を整備しています。また、後期研修においても、屋根瓦方式の初期研修医教育に参加し、実地診療訓練 (OJT) の中で、知識や技術を磨くのみではなく、患者や家族の痛みが理解でき、真摯な態度で診療を行う医師の育成を目指しています。

トピックス

当院の質の高い研修が認められ、2019年8月から NPO 法人卒後臨床研修評価機構（略称 JCEP）から認定を受けています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　職員研修部
担当医師　職員研修部長　東 将浩
TEL　06-6942-1331
FAX　06-6943-6467
E-mail　408-kenshubu@mail.hosp.go.jp

近畿

初期臨床研修	協力型	専門研修	連携

近畿中央呼吸器センター

病院長名	尹　亨彦
住　所	〒591-8555　大阪府堺市北区長曽根町1180
電話番号	072-252-3021
アクセス	阪和線三国ヶ丘駅から金岡方面行きバス6分、近畿中央呼吸器センター前　下車すぐ

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
0	26	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	1	0	0	0	1	0	2						39

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
246			15				261

□ 1日平均患者数　外来 192件　入院 206件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 1,067件　救急車 604件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 360件　全身麻酔 277件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　17名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 1件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 2回 / 月平均　専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	350,000 円/月	350,000 円/月
2 年 次	350,000 円/月	350,000 円/月
3 年 次	－	350,000 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・大阪公立大学医学部附属病院、耳原総合病院、京都大学医学部附属病院
・大阪労災病院、りんくう総合医療センター、日本生命病院
・国立病院機構大阪医療センター、国立病院機構大阪南医療センター

□ 研修の領域
呼吸器内科、呼吸器外科

□ 研修の特徴
・症例数は豊富で幅広く、急性期から慢性期まで診療可能です。
・肺がんと一般呼吸器、感染症、呼吸器集中治療の研修が可能です。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△													△					

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		○							○					

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

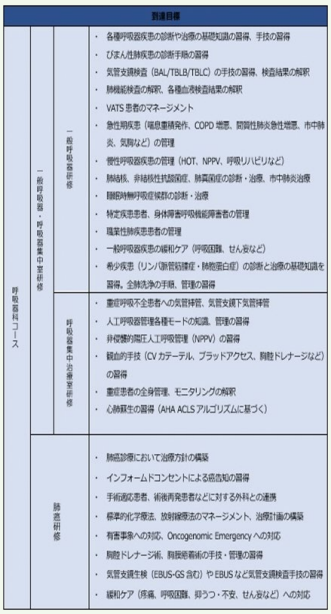
当院の特徴は、
1）呼吸器疾患の高度専門施設である。
2）症例数は豊富で、急性期から慢性期まで診療可能。
3）教育に重点をおいており、指導医のもと、各種学会の専門医取得に必要な学会発表や論文発表を行える。
4）臨床研究でも着実な成果を上げている。
であることです。

研修担当

□ 教育研修部長　滝本 宜之

あなたは胸部レントゲンや CT で肺野に陰影をみつけたとします。さて、次にどんな疾患、病態を考え、どんな検査、治療を計画できますか？実は呼吸器は感染症、悪性腫瘍、びまん性肺疾患など本当に幅広い病気をカバーしています。呼吸器内科、外科を目指される人だけでなく、他分野を専門にされる人も、若いうちに一度、我々と一緒に勉強しませんか？優秀で熱心な指導医が揃っています。また新専門医制度にも多くの基幹施設の連携施設として対応しています。一度見学に来て下さい。

トピックス



研修目標

呼吸器科コース	一般呼吸器・呼吸器集中治療研修	一般呼吸器研修
		・各種呼吸器疾患の診断や治療の基礎知識の習得、手技の習得 ・びまん性肺疾患の診断手順の習得 ・気管支鏡検査（BAL/TBLB/TBLC）の手技の習得、検査結果の解釈 ・肺機能検査の解釈、各種血液検査結果の解釈 ・VATS 患者のマネージメント ・急性期疾患（福息重篤発作、COPD 増悪、間質性肺炎急性増悪、市中肺炎、気胸など）の管理 ・慢性呼吸器疾患の管理（HOT、NPPV、呼吸リハビリなど） ・結核病、非結核性抗酸菌症、肺真菌症の診断・治療、市中肺炎治療 ・睡眠時無呼吸症候群の診断・治療 ・特定疾患患者、身体障害呼吸機能障害者の管理 ・職業性肺疾患患者の管理 ・一般呼吸器疾患の緩和ケア（呼吸困難、せん妄など） ・希少疾患（リンパ脈管筋腫症・肺胞蛋白症）の診断と治療の基礎知識を習得。全肺洗浄の手順、管理の習得
		呼吸器集中治療室研修
		・重症呼吸不全患者への気管挿管、気管支鏡下気管挿管 ・人工呼吸器管理各種モードの知識、管理の習得 ・非侵襲的陽圧人工呼吸管理（NPPV）の習得 ・観血的手技（CV カテーテル、ブラッドアクセス、胸腔ドレナージなど）の習得 ・重症患者の全身管理、モニタリングの解釈 ・心肺蘇生の習得（AHA ACLS アルゴリズムに基づく）
	肺癌研修	
		・肺癌診療において治療方針の構築 ・インフォームドコンセントによる癌告知の習得 ・手術適応患者、術後再発患者などに対する外科との連携 ・標準的化学療法、放射線療法のマネージメント、治療計画の構築 ・有害事象への対応、Oncogenomic Emergency への対応 ・胸腔ドレナージ術、胸腔鏡術の手技・管理の習得 ・気管支鏡生検（EBUS-GS 含む）や EBUS など気管支鏡検査手技の習得 ・緩和ケア（疼痛、呼吸困難、抑うつ・不安、せん妄など）への対応

呼吸器疾患全般についての幅広い知識と専門的手技を修得し、質の高い医療を提供できる呼吸器専門医を育成することを目的としています。
呼吸器専門医制度に準拠した研修を基本とし、連携施設にも考慮し、医師ごとに設定します。
標準的な2年間の当院での研修では、一般呼吸器・RCU 研修1年間、肺癌・緩和ケア病棟研修1年間となります。同時に、結核の研修も行います。希望に応じて、様々な研修を選択していただけます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　教育研修部長　滝本 宜之
TEL　072-252-3021
FAX　072-251-1372
E-mail　takimoto.takayuki.ra@mail.hosp.go.jp

初期臨床研修 | 協力型 | 専門研修 | 連携

大阪刀根山医療センター

病院長名	奥村　明之進
住　　所	〒560-8552　大阪府豊中市刀根山5-1-1
電話番号	06-6853-2001
アクセス	阪急宝塚線・大阪モノレール「蛍池」駅下車徒歩5分

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	12	0	0	12	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	3

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	1	0	0	0	1	0	1						40

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
304		106					410

□ 1日平均患者数　外来 223件　入院 275件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 545件　救急車 397件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 377件　全身麻酔 349件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　18名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　5回（剖検数 8件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 3回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	320,000 円/月	400,000 円/月
2 年 次	−	420,000 円/月
3 年 次	−	−

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
①大阪大学医学部附属病院
②大阪公立大学医学部附属病院

□ 研修の領域
呼吸器内科、呼吸器腫瘍内科、呼吸器外科、脳神経内科、麻酔科

□ 研修の特徴
上記①②の協力型臨床研究指定病院として、初期研修1年目に12カ月または9カ月の研修を行う。
【基幹病院①】内科：6カ月、外科：1カ月、麻酔科：2カ月、救急（RICU）：2カ月　計12カ月
【基幹病院②】内科：6カ月、外科：3カ月　計9カ月

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△														

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		○												

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

病院PR

当院は肺がん・慢性呼吸不全等の呼吸器疾患、そして、パーキンソン病、ALS、筋ジストロフィー等の神経・筋疾患、および、整形外科、リウマチ等の骨・運動器疾患の専門医療施設として、多職種によるチーム医療に積極的に取り組んでいます。また、2023年1月に肺がんセンターを開設し、北摂の肺がん診療の拠点として肺がん診療のさらなる向上・推進に取り組んでいます。

研修担当

□ 統括診療部長　森 雅秀

当院は呼吸器内科・外科、神経内科、整形外科に特化した専門施設で、研修については大阪大学、大阪公立大学の協力型臨床研修指定病院として、呼吸器疾患、神経疾患を中心とした研修が可能です。当院のモットーは「病気の初めから終わりまでトータルに診る」ことで、最初の診断から進行期、終末期に至るまで、全てのステージに十分に対処できる能力を身につけるためのプログラムを作成しています。技術・手技の習得だけでなく、エビデンスに基づく、患者さん本位の全人的医療を実践できるようになることも目標です。また、1年目から臨床研究に参加することも可能です。

トピックス

＜先輩からの声＞
当院は、肺がん、非腫瘍性呼吸器疾患まで、近隣の医療機関から多数紹介を受けて症例が豊富であり、呼吸器疾患の診断からターミナルまでのすべての段階の研修ができます。また、がん化学療法や COPD、抗酸菌症などの臨床試験にも積極的に取り組んでおり最新の医療に触れることが可能です。
慢性変性疾患を中心とした脳神経内科分野では府内随一であり、電気生理や筋生検も数多く行っているため、さまざまなスキルを身につけることが可能であり、充実した研修生活を送ることができます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課給与係長
担当医師　統括診療部長　森 雅秀
TEL　06-6853-2001（代表）
FAX　06-6853-3127
E-mail　410-kanri@mail.hosp.go.jp

近畿

大阪南医療センター

病院長名	小田　剛紀
住　所	〒586-8521　大阪府河内長野市木戸東町2-1
電話番号	0721-53-5761
アクセス	（最寄駅）南海高野線 千代田駅、近鉄長野線 汐ノ宮駅

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

リウ	循内	脳内	神内	消内	内分泌	血内	呼内	腫内	腎内	緩和	外	乳外	整外	心外	脳外	泌	産婦
9	9	3	3	10	4	2	5	4	7	1	8	3	11	2	4	4	4

小児	皮膚	リハ	放	麻	救急	病理	歯科	その他					計
3	2	1	7	5	1	1	1	12					126

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
384							384

□ 1日平均患者数　外来 782件　入院 275件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 －　救急車 2,869件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 2,310件　全身麻酔 1,828件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 有

研修体制

□ 指導医数　－　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　6回（剖検数 6件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 4回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）【初期研修】超過勤務手当などを支給　【専門研修】当直手当等を支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	398,700 円/月	447,200 円/月
2 年 次	398,700 円/月	478,780 円/月
3 年 次	－	501,340 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・内科（フルコース）研修：4名
・1年次：内科フルコース（10か月）、救急科（2か月）
・2年次：必須：外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科（院外）・地域（院外）　自由選択：5か月

□ 研修終了後の進路　当院後期臨床研修、その他関連大学・医療機関の後期臨床研修

□ 研修医の出身大学　関西医科大・大阪大・近畿大・和歌山県立医科大・大阪公立大他

□ 募集人数　4名

□ 試験日程　2025年8月、9月

□ 選考方法　小論文・面接

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△		△	△	△			△	△		△	△					

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
○	○	○	○	○	○	○	○	○		△		○	○	○

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
△			○		○	○	○	○

CHECK!

病院PR

当院は、国の指定する政策医療分野（免疫異常、がん、循環器、骨・運動器）をセンター化し、診療に重点を置く一方で、地域中核病院とし、先の領域に留まらず広い診療領域と診療設備を備えています。これらを基盤に、高いレベルの臨床医を目指すプログラムを作成しています。臨床経験豊かな医師やレベルの高いコメディカル職員が、技術や知識だけでなく、医療人としての生き方や病む人に接する姿勢を学び、全人的医療のできる人材の養成を基本的方針としています。そして、「チーム医療」を達成すべく各職種の垣根を越え関わり合いを重要視しています。また、救急医療にも力を入れ南大阪地域に根ざし、更なる信頼を得られる病院を目指します。

初期研修医の声

□ 研修医　盧 宰賢

当院の初期研修の魅力は、幅広い診療科が全般的にそろっているところ、上級医の先生に相談しやすいところであると思います。1年目はほぼ全ての内科をローテートするため様々な症例を診ることができ、志望の診療科に関わらず以降の研修につながることも多いと思います。様々な研修病院があると思いますが、私は大阪南医療センターを初期研修病院に選んで良かったと思っています。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

専攻医の声

□ 専攻医　芝元 心一

大阪南医療センターは地域医療を支える役割を担っています。外来から入院、連携病院への紹介から看取りまで、患者さんの半生を共に歩み、自分の診断や治療が患者さんのその後にどう影響したのか経過を追うことができるのは当院ならではのメリットです。一方、内科診療科も充実しており、専門性の高い診療や臨床 / 基礎の研究も行える病院です。地域性と専門性を兼ね備えた貴重な病院であり、充実した研修期間を過ごせます。

研修担当より

□ 初期臨床研修管理医長　工藤 慶太

当院は、内科系・外科系とも専門医・指導医がそろっています。私たちは一緒にその患者さんに対して「最適な診療とはなにか」を考えながら、自分たちが経験してきたように皆さんに「臨床診療の面白さ」を伝えられればと思います。また、「これをやってみたい」という希望にはできる限りサポートをしたいと思います。皆様と一緒に働けるときを楽しみにしております。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課
担当医師　初期臨床研修管理医長　工藤 慶太
TEL　0721-53-5761
FAX　0721-53-8904
E-mail　411-syomu2@mail.hosp.go.jp

神戸医療センター

病院長名	味木　徹夫
住　所	〒654-0155　兵庫県神戸市須磨区西落合3-1-1
電話番号	078-791-0111
アクセス	神戸市営地下鉄　名谷駅　市営バス76番　神戸医療センター前　下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
3	4	5	5	0	5	0	0	0	1	6	7	7	2	1	2	3	5

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
1	2	0	0	0	1	0	1						61

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
304							304

□ 1日平均患者数　外来 450件　入院 210件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 4,586件　救急車 2,149件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 2,508件　全身麻酔 1,544件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

35.391

研修体制

□ 指導医数　24名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　6回（剖検数 4件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 2回 / 月平均　専門研修 4回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	413,200 円/月	440,100 円/月
2 年 次	413,200 円/月	459,000 円/月
3 年 次	－	477,200 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・外科、精神科、産婦人科、小児科の科目が必修。
・将来の診療科が決まっている人、決まっていない人にも対応できる柔軟性あるプログラム。
・１年次から多くの症例を経験し、基本的な診療手技や検査手技が習得できる。

□ 研修終了後の進路　神戸医療センター常勤職員、神戸大学医学部附属病院　他
□ 研修医の出身大学　神戸大学、香川大学、徳島大学、鳥取大学、熊本大学、九州大学など
□ 募集人数　6名
□ 試験日程　8月1日(金)及び8月22日(金)の2回（予定）
□ 選考方法　小論文及び面接

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○	△	△		△	△	△	△				△	△	△					

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
○	○	△						○				△	○	

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
						○		

CHECK!

病院PR

当センターは、基本理念である「すべての人の立場にたった医療サービスの提供」を踏まえて、５つの基本方針を策定しています。
（1）人権を尊重し、良質・安全な医療サービスを提供します。
（2）政策医療の専門医療施設として医療水準を高め、臨床研究・教育研修・情報発信を行います。
（3）地域の医療機関と緊密な連携を行います。
（4）健全な病院経営につとめます。
（5）すべての職員は改善意識と目的意識を持ち、医療サービスの向上につとめます。
これらの基本方針と理念に沿って、医療環境の厳しい社会情勢の中で、がん・循環器病・成育医療・骨・運動器・呼吸器疾患等の政策医療はもとより、それ以外にも国立病院機構の病院としてふさわしい広域を対象とした高度または専門医療を担えるよう、一般医療も積極的に実施するとともに、病診・病病連携の強化を図っているところです。
2012年に地域医療支援病院として承認されています。

初期研修医の声

□ 研修医　呼吸器内科専攻医（2021年度初期研修修了）

当センターでは、豊富な症例を経験することが可能です。上級医への報告・連絡・相談はもちろん必要ですが、自由度が高く、自分なりに検査計画を立て、治療方針を考え、主体的に診療することができました。意欲があればどんどん診療手技も行えるため、採血やルート確保、腰椎穿刺、気管チューブ交換など、上級医の先生の指導のもとで数多く経験させて頂きました。研修2年目では、皮膚科や泌尿器科など、希望すればどの科でも研修可能です。各科の垣根が低く、相談しやすい環境であることが当院の魅力のひとつです。他職種の方々も優しく熱意のある方が多く、一緒に処置や検査をして指導してくれました。研修医同士の仲が良いことも魅力であり、経験症例について情報共有をすることで一緒に成長しています。私は初期研修中に産前産後休暇・育児休暇を取得しましたが、その間も復帰後も、これ以上無い環境で研修させて頂けたと考えています。研修医・専攻医をしっかりバックアップし、育てようとする素晴らしい病院だと実感しています。

専攻医の声

□ 専攻医　循環器内科専攻医（2021年度初期研修修了）

私は循環器内科を専攻していますが、カテーテル治療や心不全管理など幅広い症例を経験でき、指導医の先生方の丁寧な指導のもとで成長を実感できます。多職種との連携もよく、チーム医療の重要性を感じながら診療に取り組める環境です。関連施設での研修も含めて、専門医取得を見据えた研修が充実しています。他の診療科に進まれた先生方も同様に多くの症例を経験されており、多くの専攻医にとって学びの多い病院と考えます。

研修担当より

□ 内科部長　宮崎 博之

初期研修は、専門医を目指す前段階として医師の基礎をつくる大事な期間です。神戸医療センターでは、チーム医療の中で基本的な診療の知識や技能をしっかりと身に付けてもらうことを第一に、手術や検査など専門的な手技にも積極的に取り組んでもらえるような研修を行っています。プログラムは、必須研修を終えた後の２年目の８カ月間は自由に研修科を選択でき、将来進みたい科がある人、未だ迷っている人どちらにも応えられる柔軟性のある構成となっています。

トピックス

科の垣根を越えて学びやすいアットホームな環境で、専門研修まで残れます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　神戸医療センター研修管理委員会事務局（事務部管理課）
担当医師　内科部長　宮崎 博之（プログラム責任者）
TEL　078-791-0111
［原則としてメールでお問い合わせください］
FAX　078-791-5213
E-mail　412-kenshu_i@mail.hosp.go.jp

近畿

姫路医療センター

病院長名	河村　哲治
住　所	〒670-8520　兵庫県姫路市本町68
電話番号	079-225-3211
アクセス	JR 姫路駅よりバス10分または徒歩20分

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
0	15	12	2	0	0	11	1	0	0	0	0	3	0	2	1	4	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	リウ	緩和	形成	血内	乳外	泌	計
0	0	0	0	1	2	0	2	1	1	1	1	3	64

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
405							405

□ 1日平均患者数　外来 536件　入院 289件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 6,934件　救急車 3,187件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 2,979件　全身麻酔 1,985件　ダビンチ 有
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　24名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　2回（剖検数 1件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 3回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	375,000 円/月	514,000 円/月
2 年 次	375,000 円/月	529,000 円/月
3 年 次	－	544,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・手を出させる実践主体の研修
・各科の垣根が低く相談しやすい環境
・各自のペースにあわせて成長していけるスタイル

□ 研修終了後の進路　当院専攻医、他院専攻医
□ 研修医の出身大学　京都大学、高知大学、兵庫医科大学など
□ 募集人数　3名
□ 試験日程　2025年8月下旬（予定）
□ 選考方法　小論文・面接

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
○				△		△			△									

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
○		○						○	○			○		

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
						○		

CHECK!

□ その他特記事項

■基幹施設	
内科専門医研修国立病院機構姫路医療センタープログラム	
■連携施設	
兵庫京大外科専門研修プログラム	神戸大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム
京都大学広域連携専門研修プログラム	京都大学整形外科専門研修プログラム

病院PR

当院は、世界遺産姫路城の旧城郭の一角に位置し、閑静で緑豊かな環境にあります。姫路駅までも徒歩20分と好立地です。
「地域がん診療連携拠点病院」「地域災害医療センター」などの機能を備え、地域の基幹病院として医療を支えています。多彩な症例を経験して実践的なプライマリ・ケアが修得できます。
さらに、ICU のほか呼吸器センター・消化器センターが設置されており、呼吸器系・消化器系の機能充実を行っています。
当院の医療に携わり、診断・処置技術を学びませんか。経験豊かなスタッフがあなたの研修をサポートいたします。

初期研修医の声

□ 研修医　研修医一同

小回りのきく中規模病院の特長を生かして、各自のペースを尊重した研修スタイルを送ることができます。
呼吸器内科や消化器内科では、模型にて気管支鏡検査や消化管内視鏡検査のトレーニングを行った後、上級医の先生に指導してもらいながら手技を習得していきます。また、救急科ではドクターカーに乗車し、現場での処置を行うなど、普通の救急では経験できないような症例にも出会うことができます。

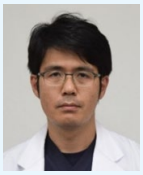
専攻医の声

□ 専攻医　消化器内科専攻医

当科では主治医制とチーム制両方の良いところを取り入れています。主治医制では主治医として患者をみるので成長速度が早く、上級医がマンツーマンで指導し、安心して研鑽を積めます。チーム制はチーム内で情報を共有し主治医不在時もフォローの体制を確立しています。また、充実したサブスペ研修を行える体制も整えています。その他、専攻医は地方会の発表で研鑽を積み、いい演題があれば海外でもチャレンジ可能な環境です。

研修担当より

□ 呼吸器内科医長　鏡 亮吾



当院では、救急初期対応を含めたプライマリ・ケアから最先端の専門的診療まで幅広く研修し、医師としての礎を築くことができます。
中規模病院の特長を生かし、個々のニーズにきめ細かく対応した個別的な研修が可能です。
先生方が２年間充実した研修生活を送り確固とした臨床能力を身につけられるよう全力でサポートしていきます。

トピックス

救命処置をより早く行うために姫路市消防局や周辺消防本部と連携し、医師を現場に派遣する「ドクターカー」を運用しています。
また、研修医勉強会により基本的な知識、技術を学ぶことができます。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課
担当医師　呼吸器内科医長　鏡 亮吾
TEL　079-225-3211
FAX　079-225-8310
E-mail　413-sy@mail.hosp.go.jp

近畿

初期臨床研修	ー	専門研修	連携

兵庫あおの病院

病院長名	村松　三四郎
住　　所	〒675-1327　兵庫県小野市市場町926-453
電話番号	0794-62-5533
アクセス	神戸電鉄粟生線市場駅から徒歩約20分

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	0	0	0	0	2						9

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
50	200						250

□ 1日平均患者数　外来 38件　入院 223件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 120件　救急車 16件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 34件　全身麻酔 1件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　3名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	350,000 円/月	350,000 円/月
2 年 次	350,000 円/月	350,000 円/月
3 年 次	ー	350,000 円/月

研修概要

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△																		

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
重症心身障害医療にも関わることができ、医療に対する視野の広い臨床医となり得る研修が可能。内科専門研修については、北播磨総合医療センターと京都府立医科大学附属病院の特別連携施設として様々な症例を経験することができる。

トピックス

外来診療の様子

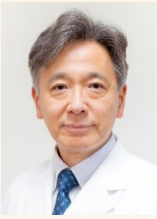
外来ホール

病院PR

当院は、重症心身障害児（者）の住宅支援を含む専門医療を提供するとともに、呼吸器、消化器などの悪性疾患をはじめとして、循環器疾患に対して、骨・運動器疾患などの患者などに対して、地域のニーズに応えた医療を行っています。
重症心身障害児（者）医療に関しては200床を有し、長期入所に加えて、2005年2月からは通所事業、2016年12月からは通園者の入浴サービス及び障害児（者）地域療育在宅巡回訪問相談支援事業、2008年8月からは日中一時支援事業を開始し、重心・一般両分野において地域医療を支える存在として在宅医療に取り組んでいます。

研修担当

□ 院長　村松 三四郎



当院は、新専門医制度における北播磨医療センター及び京都府立医科大学附属病院の内科専門研修特別連携施設として専攻医の受入れを実施しております。
また、内科、外科関連分野の専門医として、基本的な病態の理解と科学的な思考能力、臨床に役立つ手術や処置の習得、臨床医としての役割と患者への接し方を自覚できる医師の形成、自ら問題を発見・解決する能力を習得することも目的としています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　管理課庶務班庶務係
担当医師　院長　村松 三四郎
TEL　0794-62-5533
FAX　0794-62-5757
E-mail　414-shomu@mail.hosp.go.jp

近畿

兵庫中央病院

病院長名	藤原　英利
住　所	〒669-1592　兵庫県三田市大原1314
電話番号	079-563-2121
アクセス	JR 三田駅から神姫バスに乗車（三田駅北口～中央病院前）

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
6	1	3	0	11	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	0	0	0	0	1						27

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
300	50	100	10				460

□ 1日平均患者数　外来 226件　入院 391件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 171件　救急車 151件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 343件　全身麻酔 162件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　3名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	518,300 円/月	543,600 円/月
2 年 次	500,700 円/月	561,400 円/月
3 年 次	−	578,900 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・神戸大学医学部附属病院

□ 研修の領域
脳神経内科、内科、消化器内科

□ 研修の特徴
全人的な科学的根拠に基づいた医療を実践し、プライマリー・ケアーをはじめとした様々な基本的診療能力をより効率的に研修医が身に付けられるようなプログラムとなっています。プログラムの概要は下記の3コース。
Aコース：2年間基幹型病院で研修を受ける
Bコース：基幹型病院で1年目研修を行い、2年目研修は主に協力型病院で受ける
Cコース：1年目研修を主に協力型病院において行い、2年目研修は基幹型病院で受ける

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△				△		△												

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
兵庫県における神経難病拠点病院である当院では、連携病院として神経難病の基礎的、専門的医療の研修を実施予定。一方、消化器、代謝分野でも主に高齢者や障害者を中心とした専門研修を実施予定。

病院PR

兵庫中央病院は、神経筋難病、筋ジストロフィー、重症心身障害や結核・呼吸器疾患に関する専門医療を行う兵庫県の拠点病院として、広く県内外からの信頼を得てきました。又近隣の医療機関との相互連携を保ち、地域医療にも大きく貢献しております。今後さらにこれら専門医療を充実させていくとともに、内科（消化器・糖尿病・代謝・循環器など）・消化器外科・呼吸器外科・整形外科などの診療にも重点を置いて、地域医療に積極的に取り組む総合病院として発展してゆきます。

■専門医資格関連情報
神経学会専門医制度教育施設、糖尿病学会認定教育施設、消化器病学会認定施設、呼吸器外科学会指導医制度関連施設、消化器外科学会専門医関連施設、内科学会認定医制度教育関連施設、呼吸器学会関連施設、整形外科学会専門医研修施設、外科学会専門医制度修練施設、プライマリ・ケア学会認定医研修施設、消化器内視鏡学会指導施設、胸部外科学会認定医制度関連施設、大腸肛門病学会認定施設、認知症学会教育施設

研修担当

□ 副院長　二村 直伸

当院は、協力型病院であり、初期研修においては、神戸大学と協同で行います。
専門研修は別記各科で行っており、脳神経内科・消化器内科の専門医資格取得目的とする研修を行っています。
研修修了後は、医師経験年数を考慮し、正式医員としての採用も可能です。
優れた指導医と多くの症例で充実した研修がじっくり行えます。

トピックス

脳神経内科医師

多岐にわたる神経変性疾患の急性期から慢性期までをひととおり経験できると考え、兵庫中央病院を選びました。また、脳神経内科医の数も多く、様々な先生から優しく丁寧にご指導を頂く機会も多く、研修を受ける上で非常に有意義なものだと思います。さらに、他科との垣根も低く、気軽にコンサルト出来る点もよかったと思います。脳神経内科をはじめとした内科の研修を自分のペースでやっていくことが出来るのも大きな特徴だと思います。

外来受付

診察室

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部管理課給与係
担当医師　副院長　二村 直伸
TEL　079-563-2121
FAX　079-563-4626
E-mail　futamura.naonobu.hu@mail.hosp.go.jp

初期臨床研修 | 協力型 | 専門研修 | 連携

奈良医療センター

病院長名	永田　清
住　所	〒630-8053　奈良県奈良市七条2-789
電話番号	0742-45-4591
アクセス	近鉄西ノ京駅から奈良交通奈良県総合医療センター行き（奈良医療センター経由）バス、奈良医療センター下車。近鉄西ノ京駅から徒歩約15分。

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
8	0	0	0	5	1	0	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他	ペイン	小神				計
0	0	0	0	0	0	0	0	1	2				22

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
174	100	36	30				340

□ 1日平均患者数　外来 171件　入院 275件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 821件　救急車 375件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 165件　全身麻酔 78件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 無　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　11名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 2回 / 月平均　専門研修 2回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	449,100 円/月	482,600 円/月
2 年 次	449,100 円/月	501,900 円/月
3 年 次	−	520,600 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
奈良県立医科大学附属病院・奈良県総合医療センター、近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院、国立病院機構京都医療センター

□ 研修の領域
内科（呼吸器内科、脳神経内科、一般内科）、脳神経外科

□ 研修の特徴
①呼吸器内科：呼吸器疾患センターおよび奈良県下で唯一の結核病棟（30床）に集まる豊富な症例を、気管支鏡の習得から治療まで学習。②脳神経内科：県内唯一の筋ジス病棟とパーキンソン病などの神経難病の病棟で、多くの貴重な先天性あるいは神経変性疾患を学ぶことができる。日本神経学会の教育施設として電気生理による神経・筋診断や、長時間ビデオ脳波モニタリングを中心とした脳波を豊富な症例をもとに詳しく学ぶことができる。③脳神経外科：奈良県立医科大学脳神経外科研修プログラムの関連施設として3人の指導医で指導。特に機能的脳神経外科領域（てんかん、定位脳手術）の手術は毎週1例はおこなわれていて、深部脳樹刺激の方法と効果を学習できる。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△										△								

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
		△			△									

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
○		○						

□ その他特記事項
①専門医研修プログラムとして、基幹施設から専門研修をうけいれ、内科・脳神経内科・脳神経外科の研修をおこなっています。②呼吸器については、奈良県立医科大学附属病院を基幹病院とした呼吸器専門プログラムに連携施設として参加しています。さらに当院で研修を行うことにより、アレルギー専門医の取得が可能です。③老年病専門研修プログラム、病院総合診療専門医プログラムの基幹施設となっています。④脳神経内科は日本神経学会の教育施設であり、神経内科専門カリキュラムに従って研修後、神経内科専門医受験資格がえられます。そのために厳密な指導をします。⑤脳神経外科は機能的脳神経外科領域の技術習得ができ、日本定位・機能神経外科学会の技術認定が可能です。

病院PR

当院は奈良市の西部、西ノ京に位置し、病院からは万葉集に名高い勝間田池（大池）に姿をうつす薬師寺の双塔や唐招提寺の森が一望できます。たいへん空気の良い療養に適した環境で、結核、神経難病、重度心身障害を主とした政策医療と、亜急性期から慢性期に対応した地域に密着した一般診療を提供しています。専門医が最先端の知識をもとに定期的カンファレンスをひらき、疾患を様々な角度から検討し治療に当たります。

研修担当

□ 副院長　玉置 伸二

他院では経験できない３つの研修の特徴があり１県内で唯一の結核病棟があり、抗酸菌感染症、難治性・重症喘息、睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器疾患が豊富に学べます。2県内唯一の筋ジス病棟や数少ない神経難病の病棟で、筋ジスやパーキンソン症候群などの、急性期病院の研修では決して経験できない神経内科疾患の治療を学べます。3機能的定位脳手術技術認定施設として、深部脳刺激療法をはじめとする機能外科の治療を学べます。

トピックス

奈良県てんかん診療拠点センター（2021年4月より）として長時間ビデオ脳波モニリングを中心に治療（迷走神経刺激法も含む）や、地域連携を介し在宅指導・他病院との連携を図っています。機能的脳神経外科センター（2012年より）での2000年の深部脳刺激療法の手術数は関西で3位です。呼吸器疾患センター（2013年より）では重症喘息に対する気管支サーモプラスティや生物学的製剤による治療をおこなっています。不随意運動疾患センター（2018年より）では電気生理のハンズオンを毎週おこない、ボツリヌス治療などもおこなっています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務班長
担当医師　副院長　玉置 伸二
TEL　0742-45-4591
FAX　0742-48-3512
E-mail　416-info@mail.hosp.go.jp

近畿

初期臨床研修 | 協力型 | 専門研修 | 基幹及び連携

やまと精神医療センター

病院長名	井上　眞
住　所	〒639-1042　奈良県大和郡山市小泉町2815
電話番号	0743-52-3081
アクセス	（J R 線）大和路線（関西線）大和小泉駅下車（大阪から40分・天王寺から27分・奈良から10分） 近鉄郡山駅行バス（奈良交通）にて松尾寺口下車すぐ （近 鉄 線）橿原線 近鉄郡山駅下車（大阪難波から45分・近鉄奈良から20分）小泉駅東口行バス （奈良交通）にて松尾寺口下車すぐ （自家用車）①西名阪法隆寺ＩＣ下車（15分）国道25号線（小泉町西）を北へ松尾寺口東入る ②第二阪奈中町ランプ下車（15分）枚方大和郡山線を南へ松尾寺口東入る

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	14	0	0	0	0						15

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
	100			183			283

□ １日平均患者数　外 来 94件　入 院 230件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 76件　救急車 19件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総 数 0件　全身麻酔 0件　ダビンチ 無
□ 社 会 保 険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿 舎 無　院内保育所 無　病児保育室 無

病院ＰＲ

当院は国立病院機構として近畿唯一の精神科専門病院であり、政策医療として精神疾患、重症心身障害を対象として、専門的医療、教育研修、臨床研究を実施しています。また、医療観察法による指定入院医療機関であり、平成22年度に医療観察法病棟が開棟しました。
診療の重点領域は、精神科救急、結核等の身体合併症、老年期精神疾患、司法精神医学、精神科デイケア、重症心身障害入所および通所事業で当院は奈良県の精神科救急および応急入院指定病院の指定を受けており、急性期精神疾患の入院症例を積極的に受け入れております。
初期研修としては、市立奈良病院と国立病院機構大阪医療センターからの研修医を受け入れています。
専門医研修は、基幹施設として行い、国分病院、住友病院、日生病院、水間病院、大阪大学医学部付属病院と連携しています。

研修体制

□ 指導医数　8名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	基幹病院で支給	650,000 円/月
2 年 次	基幹病院で支給	650,000 円/月
3 年 次	－	650,000 円/月

研修担当

□ 副院長　谷口 謙

初期研修では、日常診療で頻繁に遭遇するうつ状態や適応障害から、緊急を要する幻覚妄想状態や精神運動興奮状態などの病態まで対応できる基本的な診療能力を身につけることを目標としています。また、患者さんへの基本的な態度や、チーム医療に必要な知識や能力を涵養することも必要項目として考えています。
専攻医の方には、さらに精神科医としての実力を養っていただき、指定医・専門医の資格を取得していただくよう積極的にサポートしております。臨床医としての実力を蓄えていただくと共に、臨床研究や実習生、看護学生への教育についても関心を持っていただければ幸いです。

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・国立病院機構大阪医療センター
・市立奈良病院

□ 研修の領域
精神科

□ 研修の特徴
統合失調症、認知症、気分障害、知的障害など、軽症から重症まで精神科での幅広い症例を学ぶことができる

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
			○															

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

CHECK!

□ その他特記事項
強度行動障害を合併する重症心身障害者を対象とした重症心身障害病棟を平成27年に新病棟へ増床移転し、障害者医療・福祉分野でも多くの患者を受け入れています。通園事業も活発で、知的障害者にみられる精神障害および強度行動障害の治療対応を学ぶことができます。また、結核合併症に対する病床が特設されており、内科医の指導の下、内科的身体管理も行っています。認知症の診療では頭部 MRI による VS-RAD の計測も実施しており、早期診断と治療、さらに地域医療連携室では施設入所・通院治療を介して地域との連携体制を構築しています。協力型初期研修プログラム、大学からの医学生実習受入に加え、看護師、薬剤師、栄養士、作業療法士、精神保健福祉士など幅広い職種での臨床実習受入実績があり、研究では、社会人枠として大学院研究にも実績があります。以上のように、軽症から重症まで幅広く精神障害の診療を経験でき、診療・教育・研究とバランスのとれた専攻医研修ができること、さらに近畿では数少ない医療観察法入院・通院医療機関として司法精神医学を学べることに大きな特徴があります。

トピックス

厚生労働大臣から近畿地区の「指定入院医療機関」の指定を受け、「医療観察法病棟」として、病床数35床で運用しています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務班長
担当医師　副院長　谷口 謙
ＴＥＬ　0743-52-3081
ＦＡＸ　0743-52-8879
E-mail　417sy01@mail.hosp.go.jp

南和歌山医療センター

Minami Wakayama Medical Center

病院長名	橋爪　俊和
住　所	〒646-8558　和歌山県田辺市たきない町27-1
電話番号	0739-26-7050
アクセス	JR 紀勢本線（きのくに線）紀伊田辺駅　明光バス「南和歌山医療センター前」で下車

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
6	3	4	3	0	7	0	0	3	5	2	0	3	2	1	2	5	3

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	2	0	1	4	0	0	3						59

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
316							316

□ 1日平均患者数　外来 429件　入院 231件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 7,548件　救急車 3,732件　ドクターヘリ 57件
□ 年間手術件数　総数 1,467件　全身麻酔 993件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　25名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　1回（剖検数 1件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 3回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年 次	500,000 円/月	550,000 円/月
2 年 次	500,000 円/月	600,000 円/月
3 年 次	－	650,000 円/月

研修概要

初期研修

基幹型臨床研修病院

□ 研修の特徴
・研修医の自主性を尊重したプログラム
・１年目はプライマリーケアの習得を目標とし、２年目からは希望に添った専門性を高める研修を受けることが可能
・和歌山県内の各基幹型病院での研修も可能

□ 研修終了後の進路　他医療機関に採用
□ 研修医の出身大学　近畿大学、和歌山県立医科大学、東海大学、大阪医科薬科大学
□ 募集人数　2名
□ 試験日程　随時実施
□ 選考方法　書類選考・面接

CHECK!

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△		△		△		△				△	△	△	△		△			

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治
	△	△						○	△				○	○

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病
						○		

病院PR

平成16年の独立行政法人化後、地域の医療ニーズを考え、17年に緩和ケア病棟、18年に救命救急センターを開設し、24年にはヘリポートも完成し、紀伊半島南半分からの重症救急患者さんを24時間体制で受け入れています。当院の職員には、超急性期医療から最新がん治療、終末期医療までをカバーする能力が求められ、当院の伝統である「一丸となって取り組む能力」を基に、「思いやりのある医療」の基本理念を実践すべく日夜努力しています。「医療の質」の向上が問われる昨今、高額機器の充実のみならず、愛情溢れる温かい心を持つ職員がそろうことで質の向上が可能であることを肝に銘じ、職員一同力を合わせて励んでいます。

初期研修医の声

□ 研修医　増原 健悟

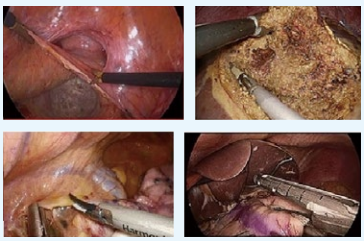
当院で働いているスタッフの方々は、とても親切で、分からないことがあれば丁寧に教えていただけます。研修医の数が少ないので、見たい症例や、やりたい症例について、関係する先生にお声かけしておけば、高い確率で経験することができます。また、マンツーマンでしっかりと指導を受けることができます。
協力病院として定期的に研修医を受け入れているので、他の研修医と交流もあり、相談しやすく楽しい職場です。

研修担当より

□ 院長　橋爪 俊和

当院は和歌山県の紀南地方田辺市にあり、パンダの町でも有名な白浜町に隣接するベッド数316床の中規模病院です。近くに白浜空港があり、約1時間で東京まで行けます。
当院の特徴として、救急医療から慢性期医療、終末期医療まで幅広く医療を行っています。救急医療では、救命救急センター内に22床のベッドを有し、1次救急から3次救急まですべて行っており、当院の位置する田辺地区・西牟婁地区の約48%の救急を受けています。また、ヘリポートとドクターカーを有し、当院の救急医は24時間オンコールで救急患者に対応しています。一般医療では通常医療のほかに、院内がんセンターが組織化されており、手術療法、化学療法、放射線治療、がん相談、緩和医療と、がん医療に対しても充実しています。
当院では、どんな患者さんであっても自分で診て、頭で考え、上級医の下で自分でできることはして、そして、自分にできることを少しずつ増やしていくことが臨床研修であると考えています。また、当院のカリキュラムの特徴としては、2年目から専門を意識した研修を受けられ、自由に研修する科を決められ、スケジュールを数カ月単位でも変更できる可変性があります。当院のような病院は、一例一例を深く考え、病態の本質を考えて診療することを学べる環境だと思います。
風光明媚な中規模病院で研修を実践してみませんか？待っています。

トピックス



食道・胃・小腸・大腸・肛門などの消化器疾患に対する最新の治療法を提供しています。肝臓癌・膵臓癌などの高難度手術が可能であるだけでなく、良性疾患における腹腔鏡手術に対する指導者的資格である日本内視鏡外科学会技術認定医も擁しています。特に当院では技術的特性をいかしながら根治性・機能温存を求めつつ体にやさしい腹腔鏡手術を積極的に行っています。現在、胸腔鏡併用の食道癌手術・胃全摘術・肝切除術・直腸癌に対する永久的人工肛門を回避する自然肛門温存手術など質の高い高難度の腹腔鏡手術を行なっています。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務係長
担当医師　院長　橋爪 俊和
TEL　0739-26-7050
FAX　0739-24-2055
E-mail　418-syomu@mail.hosp.go.jp

近畿

和歌山病院

病院長名	南方　良章
住　所	〒644-0044　和歌山県日高郡美浜町大字和田1138
電話番号	0738-22-3256
アクセス	JR 紀勢本線（御坊駅）、御坊南海バス（和歌山病院前）

病院概要

□ 診療科・医師数　2025年1月1日現在

内	呼内	消内	循内	脳内	外	呼外	消外	心外	脳外	小児	産婦	整外	眼	耳鼻	皮膚	放	麻酔
1	6	0	0	1	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0

泌	リハ	アレ	精神	救急	病理	感内	他						計
0	0	0	0	0	0	0	0						13

□ 病床数（医療法病床数）　2024年10月1日現在

一般	一般うち重心	一般うち筋ジス	結核	精神	感染症	療養	計
86	159		15				260

□ 1日平均患者数　外来 71件　入院 208件　（2023年度実績）
□ 年間救急受入数　患者数 412件　救急車 172件　ドクターヘリ 0件
□ 年間手術件数　総数 102件　全身麻酔 71件　ダビンチ 無
□ 社会保険　健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用
□ 福利厚生施設　宿舎 有　院内保育所 有　病児保育室 無

研修体制

□ 指導医数　3名　2025年1月1日現在
□ 臨床病理検討会（CPC）の実施状況　0回（剖検数 0件）　（2023年度）
□ 学会・研修会への参加費用　支給有り（発表者のみ）
□ 当　直　初期研修 0回 / 月平均　専門研修 0回 / 月平均
□ 給与（目安）　※当直手当等は別途支給

	初期研修	専門研修
1 年次	−	330,000 円/月
2 年次	−	330,000 円/月
3 年次	−	330,000 円/月

研修概要

初期研修

協力型臨床研修病院

□ 基幹病院名
・和歌山県立医科大学附属病院
・国立病院機構南和歌山医療センター

□ 研修の領域
呼吸器内科・感染症（特に結核）・地域医療・重症心身障害児（者）医療

□ 研修の特徴
・呼吸器内科・脳神経内科専門領域とその関連領域の系統的な研修で、視野の広い研修をはぐくむというコンセプトのもとで他職種との意思疎通を図ったチーム医療の実践および地域での他の病院・診療所とも協力したスムーズな診療を実践しています。
・重症心身障害児（者）病棟や結核病棟もあり、県内各保健所の保健師との定期的 DOTS 会議等もあり、様々な複合的疾患患者の診療を行うことが可能です。

専門研修

□ 基本領域　（○基幹施設　△連携施設）

内	小児	皮膚	精神	外	産婦	整外	眼	耳鼻	泌	脳外	放	麻酔	病理	検査	救急	形外	リハ	総診
△	△			△														

□ サブスペシャルティ領域　（○教育施設等　△連携施設等）

消内	循内	呼内	血液	内代糖	神内	腎臓	膠リウ	消外	呼外	心外	小外	乳外	放診	放治

アレ	感染	老年	腫内	内外	肝臓	内視鏡	内分泌	糖尿病

□ その他特記事項
・内科（特に呼吸器内科）の初診外来や結核を含む呼吸器・内科疾患全般を新規入院から担当していただくことで、診断から治療に至るプロセスを幅広く経験できます。
・毎週症例検討会やキャンサーボードを行っており、専門医習得に必要な知識や技能を深める機会を設けています。

病院PR

呼吸器疾患、神経系疾患、胸部・血管外科の専門病院として、また、政策医療である結核、重症心身障害、神経難病の専門病院として、県内でも極めて重要な病院のひとつです。特に呼吸器内科・呼吸器外科を一体化させた県内唯一の呼吸器センターを有し、より高度で専門性の高い診療体制を整えています。脳神経内科疾患に対しても幅広く積極的な診療を行っており、核医学検査を用いたパーキンソン病や早期の認知症の診断も行っています。外科分野では、女性乳腺外科医による乳癌検診・治療や、血管外科医による動静脈疾患やフットケアにも積極的に取り組み、安全で安心な外科治療を行っています。また、開放型病院、地域医療支援病院として地域連携を充実化させており、「拠点型結核相談支援センター」の設置により結核に関する相談対応を行っています。さらに、臨床研究や臨床試験に積極的に取り組み、新たなエビデンスの発信にも努めています。

研修担当

□ 診療部長　小野 英也

呼吸器・脳神経疾患の専門性を生かしスタッフ一丸となり地域医療を実践している病院です。入院だけでなく外来診療にも携わってもらうことで、プライマリケアから専門知識、技術を習得できます。特に呼吸器疾患は多種多様で幅広く診療していただけます。結核や肺がん手術症例などについての検討会を行っており、呼吸器疾患を包括的に学ぶことができます。本院では結核を中心として、空気、飛沫、接触感染対策の臨床経験が可能で、将来どの分野に進んだとしても必要とされる感染対策の基礎と実践を学ぶことができます。また、複合疾患を持った高齢者の診療もサポートいたします。臨床研究も積極的に行っており、メディカルサイエンスを学ぶことができます。これらの専門性を生かし、チーム医療、地域医療の一員として一緒に働ける医師を求めます。

トピックス

平成30年1月より、僻地診療所との間でテレビ会議システムを用いて呼吸器疾患患者に対する遠隔診療を開始し、近隣の診療所でも専門医の診察を受けられることとなり、僻地の多い本県では極めて期待されています。また令和2年8月より脳神経内科医による訪問診療を開始し、通院困難者に対する新たな診療体制を構築しました。

お申込み・お問い合せ

照会窓口　事務部　管理課　庶務係長
担当医師　診療部長　小野 英也
TEL　0738-22-3256
FAX　0738-23-3104
E-mail　tsukitani.kenji.sx@mail.hosp.go.jp